

当面する諸案件を報告

大網白里市議会第4回定例会 市長事務報告

12月3日から22日まで、市議会第4回定例会が開催されました。開会日には市長から事務報告がありましたので、概要を掲載します。なお、可決議案等詳細は市ホームページをご覧ください。

財政

平成27年度の財政状況ですが、基幹財源である市税は、前年同月比で収納率は上回っているものの、課税額が伸びていないことから、収納額で若干の減収になると予測しています。引き続き、歳入の確保を図るとともに、事業執行段階での経費の一層の節減に努めます。

まち・ひと・しごと創生および後期基本計画

去る10月28日に「大網白里市人口ビジョン」および「大網白里市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。この総合戦略に基づき取り組みを進めます。

新年度予算編成ですが、平成28年度は第5次総合計画後期基本計画の初年度であり、市民生活の安全安心と将来の市の発展を見据えた、各種施策の着実な実施が求められておりますが、社会保障費や公債費などの義務的経費が増加傾向にある一方で、市税などの基幹財源は大幅な増加が期待できない状況です。このよ

うな状況を踏まえ、事業の選択にあたっては、緊急性や優先順位、効果などを十分検証し、財政の健全性を念頭に置いた予算編成を進めます。

防災

津波対策は、白里地区のうち、四天木11区、12区、13区において、地区ごとの津波避難計画および施設整備についての検討会を開催しました。また、プラセル九十九里では、市の補助金の交付決定を受け、11月14日に屋外階段設置のための設計業務に着手したところです。引き続き、各地区と協議を行いながら、地域の特性を考慮した個別の避難計画の策定に努めるとともに、施設整備を進めます。



▲防災訓練での「救出・救助訓練」

白里・福岡地区の一部を対象とした津波避難訓練では、津波避難ビルや避難所となる大網白里アリーナへの避難を、全市民を対象とした「防災訓練体験コーナー」では、「救出・救助訓練」や「避難所運営訓練」のほか、自助・共助に役立つさまざまな体験型訓練を実施しました。

都市整備および土木事業

第5次総合計画に掲げたまちづくりの実現を図るため、大網駅周辺や国道128号沿道等の市街化調整区域における土地利用の拡充を目指した「市街化調整区域における土

また、後期基本計画については、総合戦略における施策も反映して、市民の皆様や総合計画審議会などのご意見も踏まえ、市の将来を見据えた計画の策定に取り組んでいきます。

なお、このほか「男女共同参画計画」、「健康増進計画」、

表彰

＜食品衛生功労＞

◎10月22日の全国食品衛生指導員大会で表彰されました。

▶(公社)日本食品衛生協会理事長表彰食品衛生指導員菅谷 幸二 氏(大網)

◎11月6日の千葉県食品衛生大会で表彰されました。

▶(公社)千葉県食品衛生協会会長表彰食品衛生優良施設(株)神戸屋フローズン事業本部(南横川)

＜更生保護功労＞

◎11月19日の千葉県更生保護大会で表彰されました。

▶法務大臣感謝状 鈴木 禮子 氏(下ヶ傍示)

土地利用方針及び地区計画運用基準(案)を策定しました。

この制度は、都市計画法による「地区計画」を定めることと、これまで第5次総合計画の目指す土地利用等が困難であった国道128号沿道地区等の市街化調整区域について、その実現を可能とする仕組みとなります。

本制度の活用を図りながら、生活利便性の向上に資するまちづくりを進めます。

また、(仮称)大網白里スマートインターチェンジ事業および準用河川金谷川改修事業は、事業の更なる推進を図るため、11月上旬に国および千葉県等へ要望活動を実施しました。このほか、白里海岸を含む南九十九里浜の海岸侵食対策並びに養浜事業の促進や二級河川小中川の治水整備に関しても、千葉県に対し要望活動を実施しました。

公有財産の利活用

みどりが丘地区の市有地は、広大な面積を有し、また、市街化区域内という好条件に恵まれていることから、有効活用策について優先的に検討を進めているところです。今後は、各種企業等へのヒアリング結果などを参考としながら、その利活用策について、早期の具体化を目指します。

子育て支援

去る11月1日、市が認可を行う地域型保育事業として、大網地区に小規模保育施設「エンジェルハート・ナーサリー」が開設されました。

市内では4つ目の地域型保育事業となるこの施設は、0歳から2歳まで、それぞれ4人ずつの計12人の利用定員となつていきます。

マイナンバー制度

いわゆる「番号法」の施行に伴い、11月8日から、市民の皆様は「通知カード」の郵送が開始されました。

当初の予定では、おおむね11月中の送達を見込んでいましたが、不在等により受け取りが済んでいない世帯もみられることから、引き続き郵便局と連携を図りながら個人番号通知が届くよう努めます。また、宛て先不明等により郵便局から市に返送された個人番号通知についても、住民票の異動の有無や居住の確認など実態調査を実施し、適切な対応に努めます。

高齢者福祉

介護保険制度の改正による総合事業への移行は、平成29年4月までに実施することとされていますが、サービスの受皿づくりや地域の支え合い体制づくりには一定の期間を要することから、本市では、地域支援事業交付金を活用しながら平成28年2月の移行を目指し、準備を進めています。

移行当初は、介護事業所による既存のサービスに加え、ボランティアがサービス提供者として生活支援サービスの

産業振興

総合戦略の基本目標の1つである「仕事をつくり、安心して働ける場所をつくる」に基づき、市内産業の育成の観点から、新たに「創業支援事業計画」の策定に向けた取り組みを開始しました。

今後、国の認定を受けたうえで、関係機関と連携して相談窓口の設置や創業支援セミナーを開催するほか、市内金融機関等の協力を得ながら、支援体制の強化を図ります。

産業文化祭

10月18日に開催された産業文化祭「産業の部」は、毎年恒例の朝市組合や青空市による地場産品の販売、姉妹町中之条町からの特産品の販売、市内各種団体の活動PRを兼ねた展示即売のほか、ステージイベントとして、「大網中学校吹奏楽部」の演奏、よさこいソーラン演舞、和太鼓の演奏が盛り上げていました。本年は、天候不良のため開催日が順延となりましたが、当日は約1万人の方々に越えいただきました。

また、10月31日と11月1日の2日間にわたり開催された

教育



▲郷土芸能発表会

11月18日の第2回総合教育会議において、本市の教育大綱を策定しました。今回策定した大綱は、市の総合計画との整合を図るとともに、幼いころから生きる力を育み、生涯に渡って豊かな人生を過ごすことを目標とするもので、この目標に向かって教育行政の推進を図ります。

また、隔年で実施している「小中学生と市長・教育長の懇談会」ですが、今年はいじめ防止対策として、児童生徒の自主的な取り組みについて協議するとともに、各学校共通の行動目標を定め、いじめゼロを目指していくことを誓い合いました。